

イチゴ就農情熱実る

JA研修5人 知事に成果報告

全国農業協同組合連合会
県本部(JA全農岐阜)が

運営するいちご新規就農者
研修所で学んだ第13期生5
人が県庁を訪れ、古田肇知
事に研修の成果を報告し、
就農に向けた意気込みを語
った。

JA全農岐阜では、県産
イチゴの担い手不足解消や
生産振興を目的に、200
8年度から岐阜市内で研修
所を運営。イチゴの栽培技
術や農業経営などを1年2
カ月学び、これまでに45人
全員が県内で就農。修了者
によるイチゴの栽培面積は
県全体の2割を占める。

修了した北村一也さんと
妻晶子さん、丹羽亜季さん、
田部恵さん、寺倉泰英さん
の5人は「末永くイチゴ作
りに携わりたい」「農業経営
が安定化したら、(県が農産

育てたイチゴを古田肇知事(中
央)に贈呈した研修生ら。県庁



物の生産工程を評価する独
自制度である)ぎふ清流G
APの申請を目指す」「イ
チゴと化粧品を組み合わせ
て新たな商品づくりができ
たら」と意気込みを述べた。
5人の育てたイチゴを受
け取った古田知事は「品質
をさらに高め、岐阜のイチ
ゴの魅力を広めて」と激励
の言葉を贈った。

(湯浅裕作)